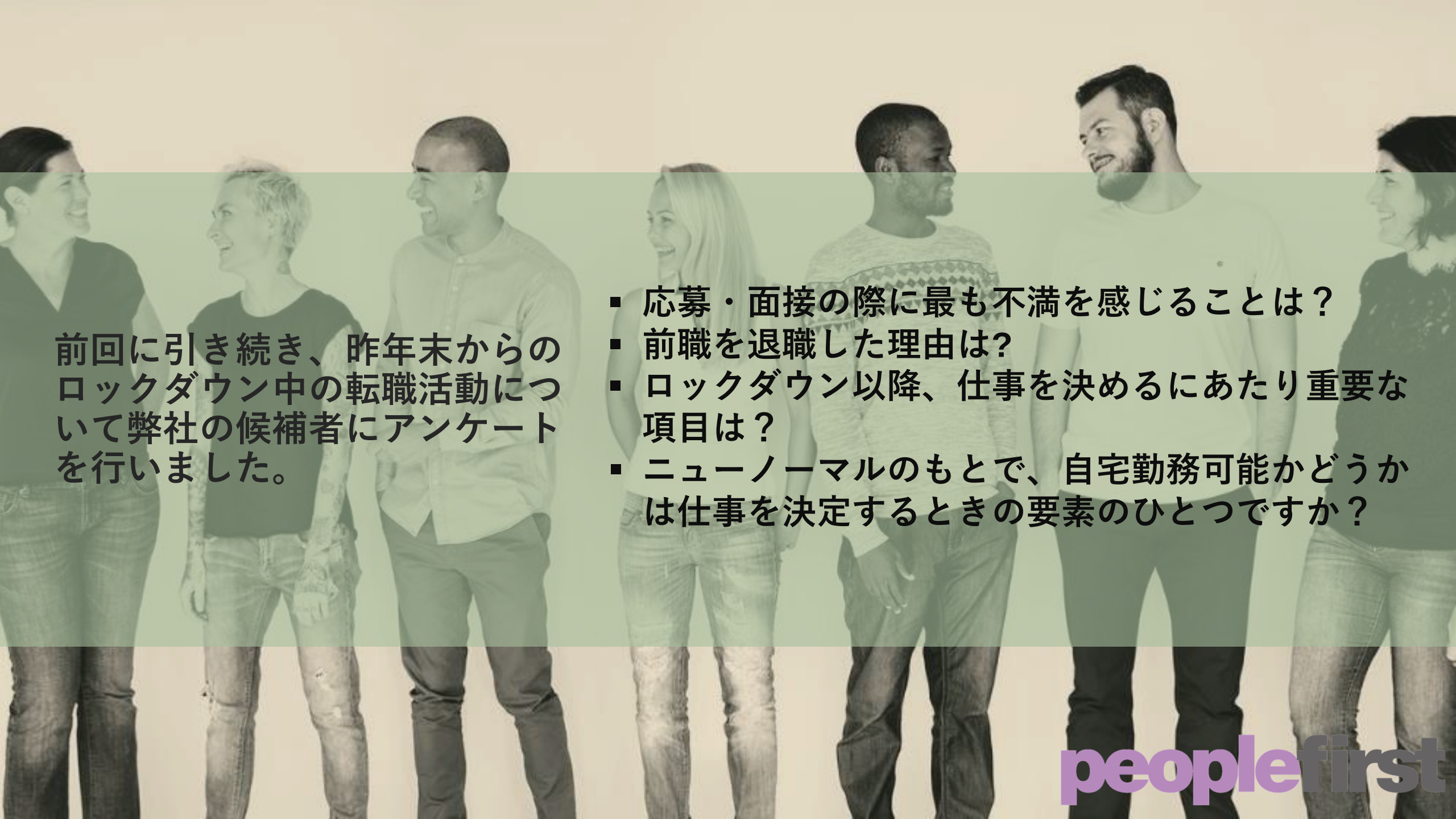


2021 ロックダウン中の転職活動 に関するアンケート結果



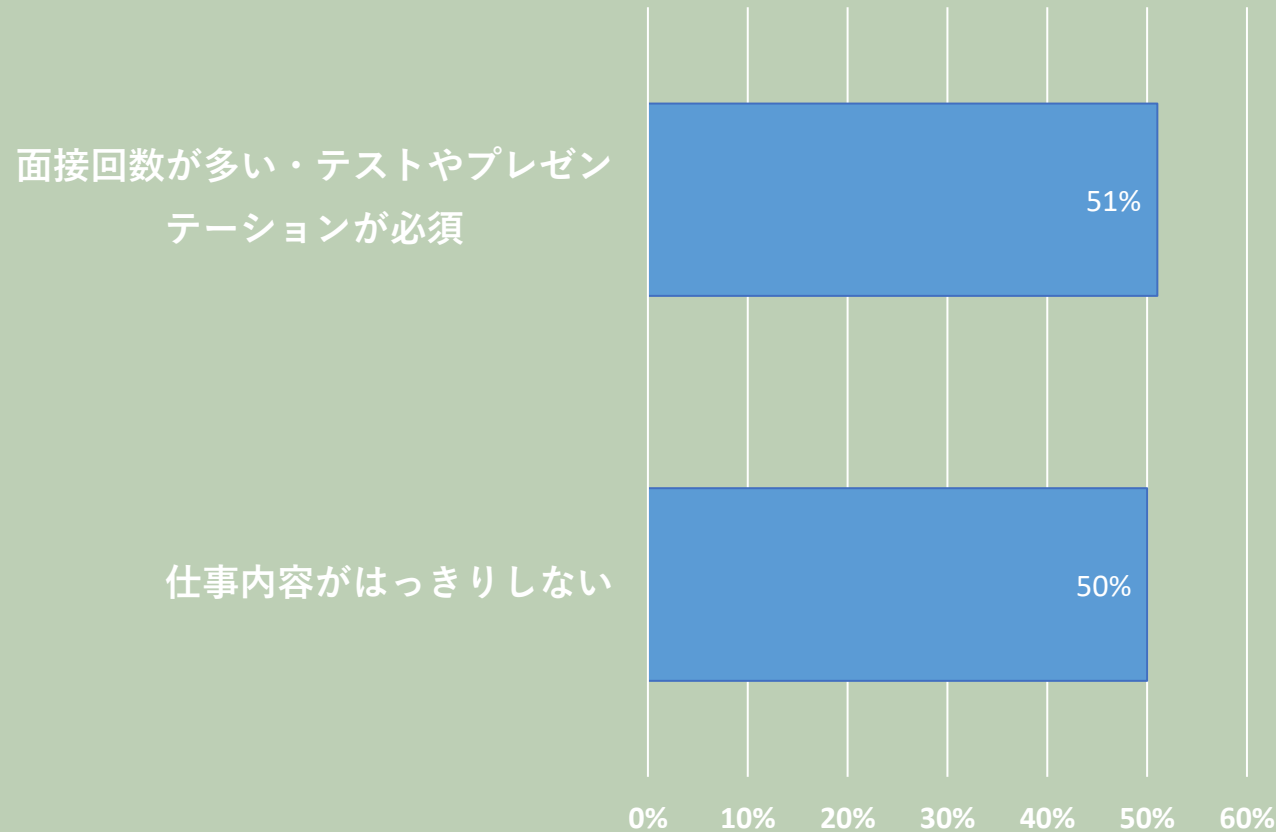
peoplefirst



前回に引き続き、昨年末からの
ロックダウン中の転職活動につ
いて弊社の候補者にアンケート
を行いました。

- 応募・面接の際に最も不満を感じることは？
- 前職を退職した理由は？
- ロックダウン以降、仕事を決めるにあたり重要な項目は？
- ニューノーマルのもとで、自宅勤務可能かどうかは仕事を決定するときの要素のひとつですか？

応募・面接の際に最も不満を感じることは？



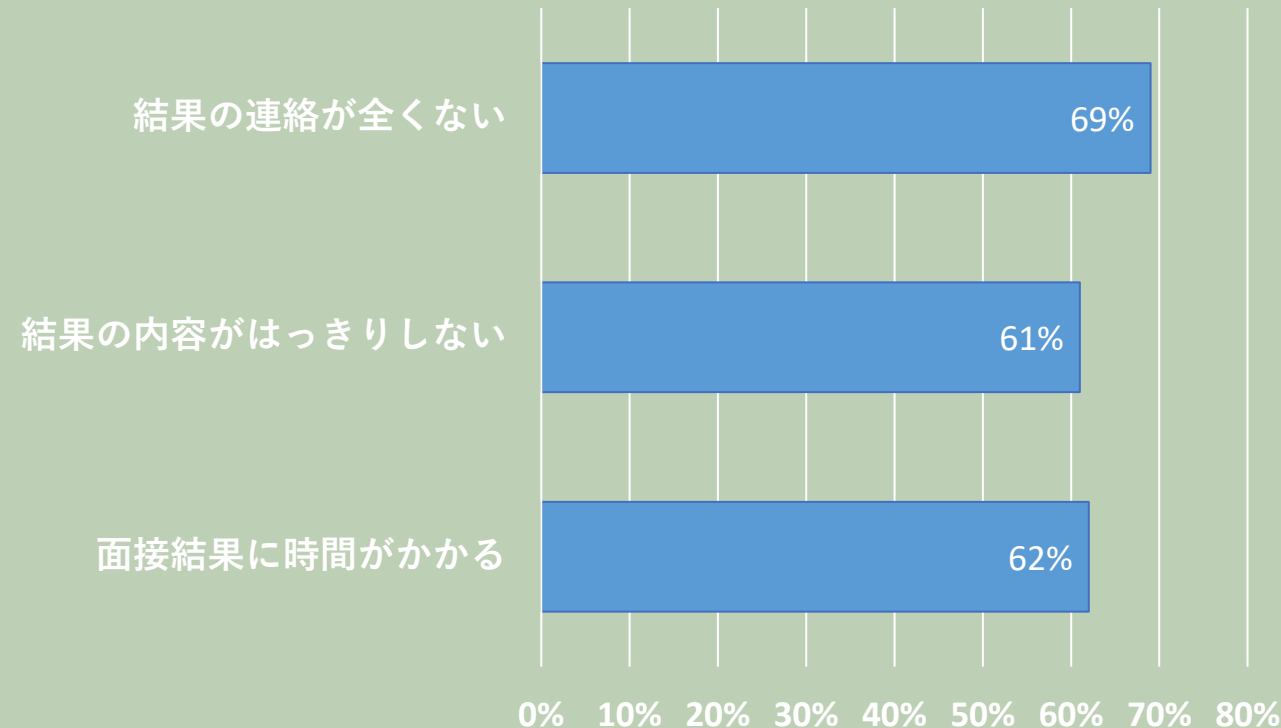
仕事内容がはっきりしない(50%)と面接回数が多い(51%)の2つに集中。

“面接は簡単なプロセスにしてほしい。対応しないといけなことがあまりに多い”

“給与が募集条件に書かれていないのでは、応募のしょうがない”

“良い評価でも悪い評価のどちらでもいいので、フィードバックをすることは最低の礼儀ではないでしょうか”

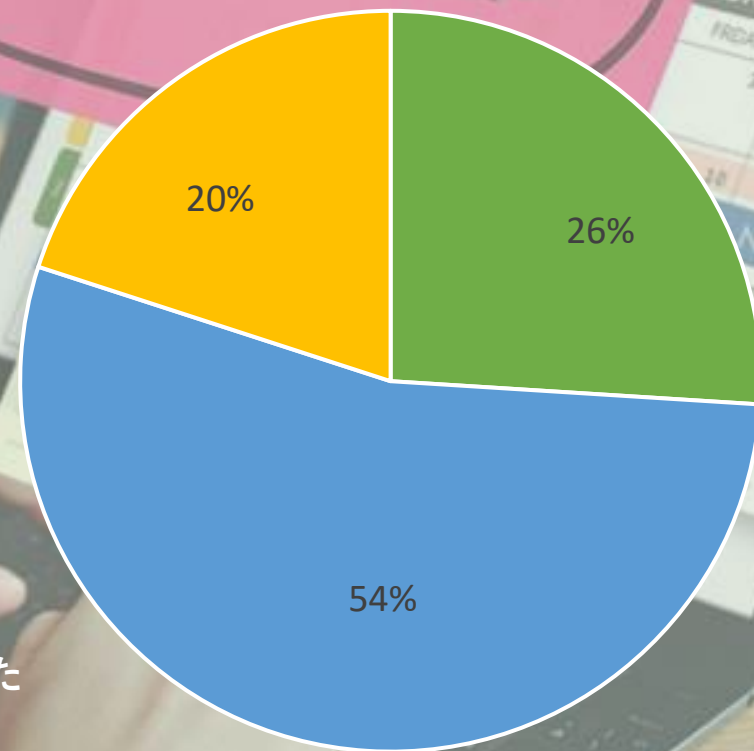
2020年の調査結果でもそうでしたが、面接結果の内容、または結果連絡そのものがないことが最も大きな不満となっています。



昨年と同じ結果であることから、雇用者側もこの点についての改善が引き続き見られないようです。

オンライン面接については、コロナ禍以前の対面面接より悪くなったとする人は20%に過ぎず、今後もオンライン面接が主流となると考えられます。

- 良くなった
- 同じ
- 悪くなった



面接官の対応に失望した候補者も多い



“こちらはカメラをオンにするように言われていましたが、面接官のカメラはオフになったままでした”

“オンライン面接では40分間しか時間がありませんでした。ロックダウン以前の対面面接では、1時間から時間半の時間がありました。40分では十分に話せないですし、質問する時間ありません”

対面面接の良さを惜しむ声も

“ボディランゲージがオンラインではうまく使えない”

“対面でのコミュニケーションの代わりになるものはない”

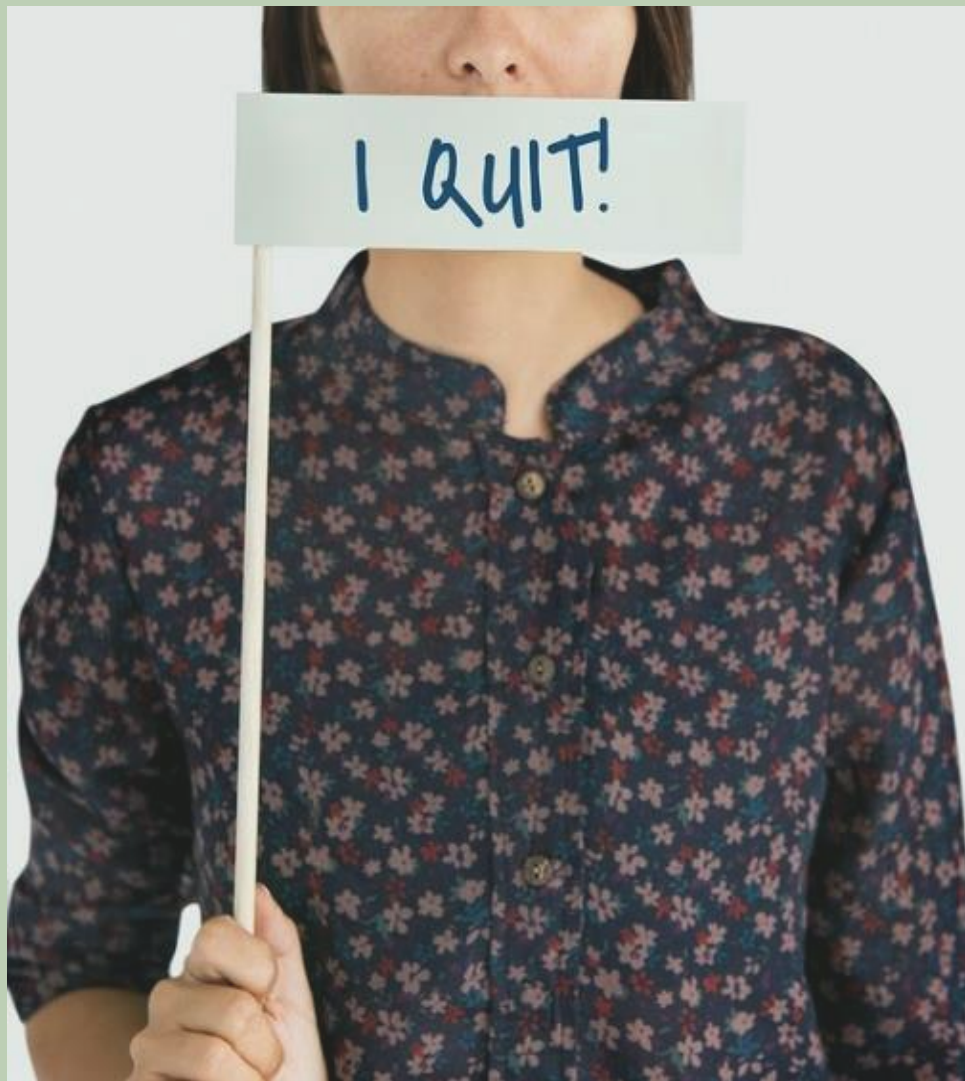
多くの人が自宅からの面接はリラックスでき、よりよく進められると感じています。

“面接自体がストレスのあるものなので、自分の慣れた環境で受けられるほうが慣れない場所に行って面接を受けるよりも緊張を減らすことができて良かった”

また対面でもオンラインであっても、「面接の準備をきちんとしておけばあまり変わらない」とする候補者も。

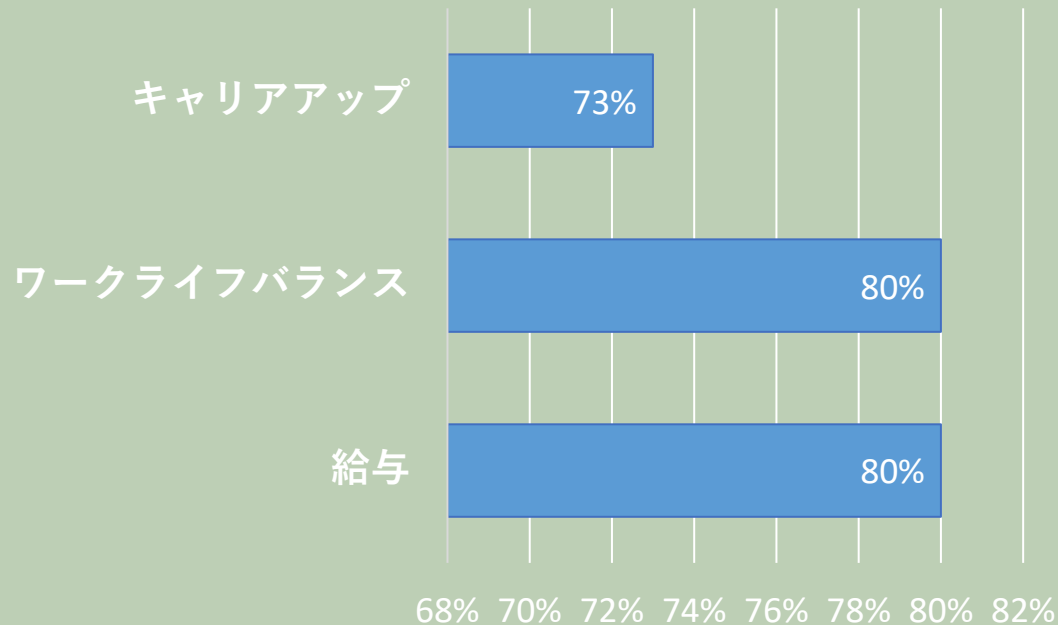


peoplefirst



前職を辞めた理由のTop3は、
給与・福利厚生が見合わない
マネジメントに問題がある
キャリアアップのため

次の仕事を探すにあたって重要な要素は、70%以上の人々がキャリアアップ、また給与、ワークライフバランスが80%となっています。

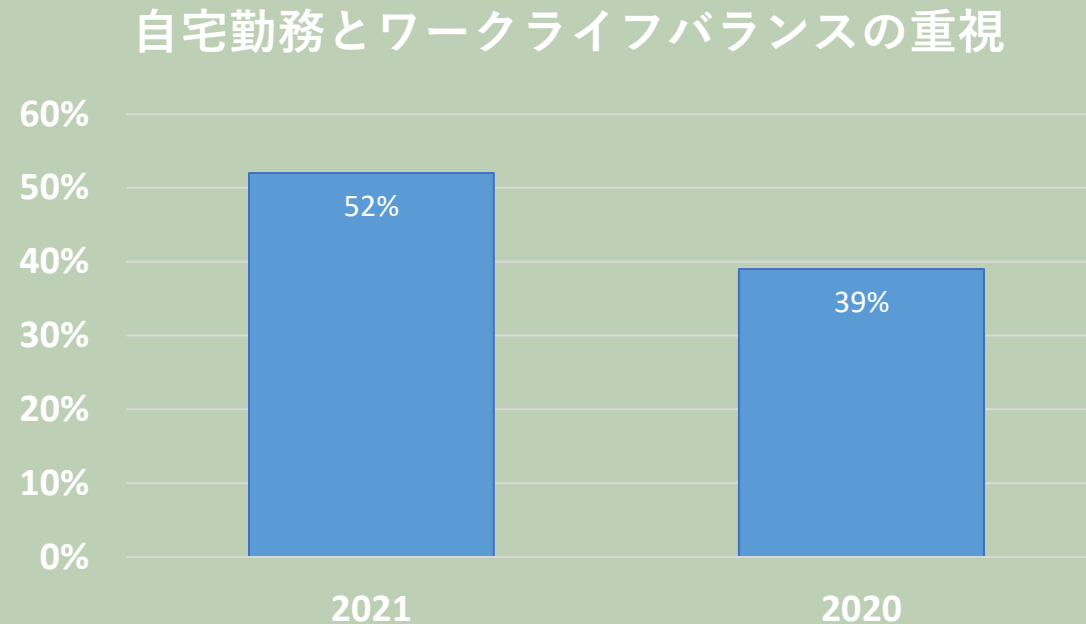


LIVE,
WORK,
CREATE.

peoplefirst

2020年と2021年の調査結果を比べると、ロックダウン以降、自宅勤務とワークライフバランスがますます重要なものになってきています。

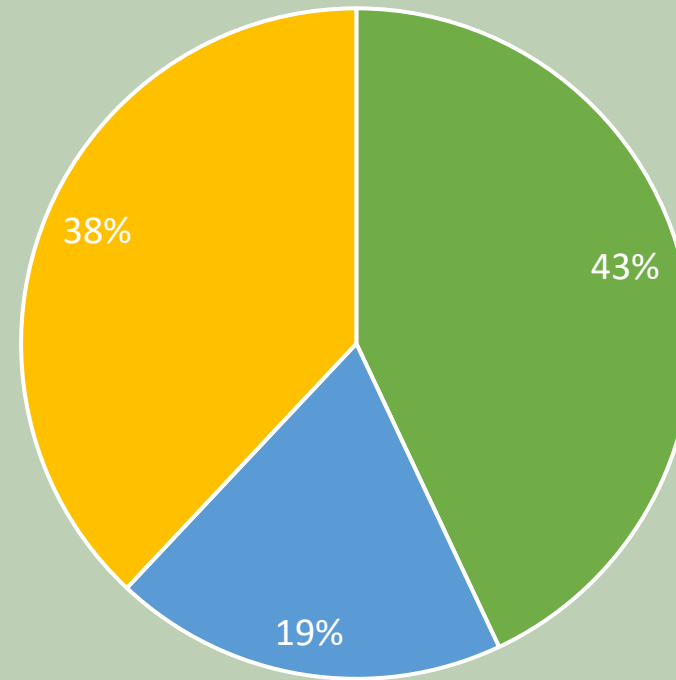
ロックダウン以前ではワークライフバランスを重要とする人は全体の39%でしたが、約1年後の今回の調査では52%となっており、次の仕事を選ぶ際の最も重要な要素（前回3位）となりました。





ロックダウン以前では、フレックス制や自宅勤務は仕事を選ぶときの決定要素とする人は約50%でしたが、
今回の調査では87%となりました。

自宅勤務やフレックス制が今後の仕事選びに重要ではないとする人は、全体の20%未満となりました。



■ Yes ■ No ■ Maybe

まとめ

1. 結果にかかわらず、候補者は面接のフィードバックを強く求めています。
2. 転職に際し、給与 (80%) とキャリアアップ (73%) は重要ですが、ワークライフバランス (80%) が前回の調査に比べさらに重要なものとなっています。
3. 多くの候補者にとってワークライフバランスとは自宅勤務がロックダウン終了後もある程度維持されることを意味しています。自宅勤務の可能性は今後仕事を選ぶ際の重要な要素となるでしょう。





本件に関するお問い合わせは
担当のコンサルタントまでお気軽に
お問い合わせください。

Tel: 020 7367 0073 (日本語)

teamjapan@people-first.co.uk

www.people-first.co.uk

peoplefirst